

メンテナンス

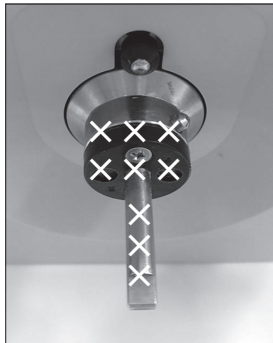
本装置をメンテナンスする際は、電源スイッチをOFFにして行って下さい。また、ヒューズ交換は必ず電源コードのプラグをコンセントから抜いて行って下さい。

(1) APミキサーⅢの清掃

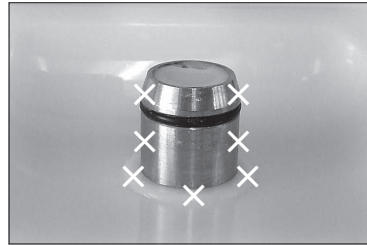
APミキサーⅢの作動不良や故障の防止のため定期的に清掃して下さい。特に、次の箇所は汚れやすいので、診療終了後に必ず清掃して下さい。

汚れやすい箇所

- 外筒取付部周辺
- 攪拌軸
- 逆止弁



- ペースト供給口周辺



清掃方法

- 未硬化のペーストが付着している場合はティッシュ等で拭き取ります。
- 印象材の乾燥固化物が付着している場合は水を染み込ませたティッシュ等で拭き取ります。
注) 清掃に有機溶剤は使用しないで下さい。

(2) ヒューズの交換方法

ヒューズ（別売）の交換は以下の手順に従って行って下さい。

- ① 電源コードのプラグをコンセントから抜きます。
- ② ミキサー本体後面にあるヒューズホルダーのキャップをマイナスドライバーにて外し（左回転）、ヒューズを取り出します。新しいヒューズ（B種125V,5A.φ5.2x20mm（別売））をヒューズホルダーにセットします。

(3) 長期間（1ヶ月間以上）使用しないとき

APミキサーⅢを1ヶ月以上使用しないときは、故障防止のために、装置内部に存在する基材及び硬化材を別売の保管材に置換して下さい。保管材パックは「使用前の準備（2）ペーストパックのセット」（11頁）に準じて装着し、エア抜きスイッチを10～15秒間押しポンプ内部に充填して下さい。置換終了後、双方の保管材パックを取りはずし、基材供給口及び硬化材供給口にペースト供給口キャップを取り付けて下さい。

注) 硬化材または基材がAPミキサーⅢ内に滞留した状態で1ヶ月間放置すると、装置は故障することがあります。

注) 保管材では印象採得は行えません。印象採得は行わないで下さい。

注) 保管材パックは、使用後はノズル部分を十分に清掃した後、しっかりキャップをして保管して下さい。

注) 放置によるポンプ故障の修理には費用が必要になりますので注意して下さい。

(4) 逆止弁の交換について

逆止弁は、吐出されたペーストの逆流防止と、ミキサー配管内にあるペーストの乾燥防止のために、本体のペースト吐出口に設置されています。

また、逆止弁は消耗品です。逆止弁が大きく開いた場合や、ちぎれた場合は、逆流・乾燥防止の機能が失われ、配管内の詰まりなどを引き起こす原因になります。逆止弁が大きく変形した場合には、付属の交換用逆止弁（単品販売あり）と交換して下さい。